

# 田尻さくら高等学校

校訓：自律 進取 誠実



## 1 基本データ

創立：平成 20 年  
定時制課程：普通科  
生徒数：203名  
所在地：〒989-4308  
大崎市田尻沼部字中新堀 137  
TEL：0229-39-1051  
FAX：0229-39-1050

ホームページアドレス：  
<https://tajiri-hs.myswan.ed.jp>  
電子メールアドレス：  
tajiri-hs@od.myswan.ed.jp  
主な交通機関：  
JR東北本線 田尻駅下車 徒歩7分

## 2 学校の特徴

### キャッチフレーズ

Change (自己変革)  
Challenge (夢に挑戦)  
Career-Up (生きる力を育てる)  
Communicate (地域とともに)

### (1) 学校の概要(沿革、環境、施設等)

本校の礎を築いた田尻高校の創立は昭和23年。小牛田農林高等学校定時制が田尻町に設置されたのが歴史の始まりです。

昭和27年、田尻町民の熱意が実り独立校に昇格、町立の定時制課程高校として創立されました。昭和41年には全日制の普通高校として県に移管され、平成13年に創立50周年を迎えました。そして、平成20年4月二部制単位制高校である「宮城県田尻さくら高等学校」が開校しました。

閑静な環境と最寄り駅から徒歩7分という恵まれた立地条件にあり、従来の全日制・定時制の枠を超えた新しいスタイルの学校で、19年目を迎えました。全館バリアフリーで、人にやさしい校舎設計に加え、地域交流ギャラリーを設置し、開かれた学校づくりを目指しています。また、少人数対応の教室レイアウトや発表会に適した特別教室及び最新のコンピュータを配置しています。

### (2) 教育方針

1. 生徒に自主自律の精神を涵養し、自己実現ができるよう、学校全体が一丸となって取り組む。
2. 心身ともに健康な人間の育成を目標とし、自主的・協同的な態度を養い、良識ある実践力を正しく伸ばすよう指導に努める。
3. 保護者及び地域社会との密接な連携・協力のもと、学習指導・生徒指導・進路指導に万全を期し、信頼される学校づくりに努める。

### (3) 教育課程の特徴

- (a) 単位制：自分の希望に沿った科目選択ができる教育課程です。  
■大学進学から就職まで幅広い進路希望に対応しています。  
■本校独自の学校設定科目も含め、多様な選択科目を用意しています。(福祉・情報・商業・芸術)  
■きめ細かなガイダンスのもとに、時間割を自分で決めます。
- (b) 二部制：自分のライフスタイルにあわせた教育課程を組むことができます。  
■I部は、午前・午後の授業で、通常の全日制と同じスタイルです。  
■II部は、午後から夕刻19時まで授業を受講します。  
■午後の5・6校時は、I部とII部の生徒と一緒に学ぶ併修時間です。  
■卒業の条件は、①3年間以上在籍、②必修科目をすべて履修、③教科・科目を74単位以上修得、④特別活動の成果が認められる、となっています。  
■I部とII部との併修時間があることによって、I部・II部とも1日6時間の授業を行い、3年間で卒業が可能な教育課程になっています。
- (c) 三・四修制：3年、4年間で卒業を基本としています。

### (4) 行事・生徒会活動・部活動

#### ◆行事

若い力を発散でき、学校生活が楽しいものとなるように学校行事を考えています。1年間の学校行事は、次のとおりです。

4月	開講式、入学式、生活安全講話、いじめ予防教室 思い出遠足・校外学習
5月	自治会総会、防災訓練
6月	さくらスポーツ祭
7月	薬物乱用防止講話、生活体験発表、文化講演会
8月	福祉講話、進路別見学会
9月	就職試験激励会
10月	さくら高祭
11月	防災訓練
12月	交通安全講話 進路決定者の話を聞く会
1月	卒業生の話を聞く会
2月	球技大会、基礎力養成講座 公民権講話
3月	卒業式、トライアルセミナー、閉講式

#### ◆自治会活動

生徒会はありませんが、有志の生徒による自治会が存在し、校内の各種活動に積極的にかかわっています。

#### ◆愛好会活動

部活動はありません。代わりに、希望生徒による愛好会活動があります。毎年、愛好会として活動したい内容がある生徒は、活動場所や時間等を申請し、自治会総会で認められれば愛好会活動が認められます。そのため、決まった愛好会が存在するわけではなく、その年によって活動する愛好会の種類が異なります。

### (5) 卒業生の進路状況

進路一覧(過去3年間、進学者・就職者数)

進路	R7	R6	R5
大学	4	3	3
短期大学	1	0	0
専各学校	8	9	13
就職	20	14	18
その他	0	9	12
卒業生計	33	35	46

主な進路先(令和8年3月卒業生)、  
( )内は人数 (1)は省略。

<大学・短期大学>

東北学院大学、石巻専修大学、東北福祉大学、  
東京音楽大学、宮城誠真短期大学

<専修各種学校>

東北職業能力開発大学校、仙台高等技術専門学校、大崎高等技術専門学校、農業大学校(2)、SENDAI 中央理美容専門学校、仙台スクールオブミュージック&ダンス専門学校、東北電子専門学校

<就職>

丸澤機工(株)、オールセーフ(株)、(株)メディアステーション大崎オフィス(2)、伊藤ハム米久プラント(株)東北工場(2)、ジェイ商事(株)、(株)米山アパレル、(株)栗原農場、(株)ゴールドスタッフ、大宮共立病院、自衛隊一般曹候補生(陸)

### 3 学校魅力発信

#### (1) 田尻さくら高校の学びのスタイル

##### 『個に応じた、柔軟な学びのスタイルを実現』

田尻さくら高校は一日に10時間の授業が設定されており、朝から始まるⅠ部の生徒の授業は1～6校時、昼から始まるⅡ部の生徒の授業は5～10校時に実施されます。高校入試の出願時にⅠ部・Ⅱ部のどちらを選択するかによって、授業を受ける時間帯が決まります。(5・6校時はⅠ部とⅡ部の併修時間となります。)

また、3年間での卒業を目指して一日に6時間ずつ授業を受けるか、4年間での卒業を目指して一日に4時間ずつ授業を受けるかで、履修する科目の数を調整することができます。

例えば、Ⅰ部に所属して3年での卒業を目指す場合の時間割と、Ⅱ部に所属して4年での卒業を目指す場合の時間割は次のように設定することができます。(網掛け部分が授業)

月	火	水	木	金	
1					8:45開始
2					
3					
4					12:15終了
屋休み					
5					13:15開始
6					14:55終了
S HR					
7					15:20開始
8					
9					
10					19:00終了

Ⅰ部で3年での卒業を目指す場合

Ⅱ部で4年での卒業を目指す場合

このように、二部制・単位制であることから、自分がどの科目を選択するかによって、個人ごとに時間割が異なるのが本校の大きな特徴です。

「自分が一番頑張ることができる」学びのスタイルを作り出すことができます。

##### 『少人数授業の実現』

個人毎に時間割が異なることから、基本的に授業は少人数で実施されています。令和7年度の1授業あたりの平均人数は、10.2人でした。少人数での授業展開は、個に応じたきめ細かい指導の実現に繋がっています。



少人数授業の様子

##### 『特色のある学校設定科目』

田尻さくら高校では、他校ではあまり見られないような独自の学校設定科目がたくさんあります。

「陶芸」、「茶道入門」、「韓国語」、「中国語」など教養科目の他にも、「イラストレーション表現」、「声とからだのレッスン」など自分の表現力を高められるような特色のある科目が設定されています。



イラスト表現



声とからだのレッスン



陶芸

##### 『さくらチャレンジ講座』(科目履修生)

田尻さくら高校では、開校以来、一部の科目で地域の社会人を科目履修生として受け入れ、生徒と一緒に授業を受ける「さくらチャレンジ講座」を実施しています。令和7年度の「さくらチャレンジ講座2025」では平均年齢68.

8歳、70名の聴講生が一年間の課程を修了しました。

科目履修生と本校生徒、年代は異なりますが、それぞれの頑張りが互いの励みになる取組となっています。



授業の様子  
(さくらチャレンジ講座)

##### (2) 主な学校行事

4月の校外学習・思い出遠足、本物の芸術に触れることができる文化講演会等、年間を通して様々な行事が行われますが、特に大きな三つの学校行事について紹介します。

##### 『さくらスポーツ祭』 (6月開催)

借り物競走や四方向綱引き、障害物競走、おたまりレーなど、毎年工夫を凝らした様々な競技が行われます。



スポーツ祭

##### 『さくら高祭』 (10月開催)

一日目は校内発表、二日目は一般公開が行われます。愛好会による発表、授業の成果の発表、有志団体や田尻高校同窓会、PTA参加のブースなど、様々な企画が2日間にギュッと凝縮されます。



さくら高祭

##### 『球技大会』 (2月開催)

今年度は「ポッチャ」、「バドミントン」の2競技を行いました。有志生徒による実行委員会が中心となり、全体の進行や審判、記録など様々な場面で活躍します。



球技大会

##### (3) さくらギャラリー

教室棟1階の生徒昇降口を入ると、広々とした多目的スペース「さくらギャラリー」があります。「さくらギャラリー」は、地域に開かれた交流スペースで、書道展や高校合同陶芸展、生徒の活動成果の展示、愛好会の活動紹介など様々な展示を行うとともに、夏は大きな笹竹と七夕飾り、冬はクリスマスツリーと、生徒の心を和ませるために大きな役割を果たしてくれています。

地域の方々にも開放しておりますので、近くにお越しの際は、足を運んでもらえれば幸いです。



クリスマスツリー



日本画&陶芸作品展



七夕書道展